

令和8年高山市長選挙 立候補予定者アンケート

田中 あきら 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、高山市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

☒ はい

・

☐ いいえ

・

☐ その他

今の行政運営に大切なものの一つに、これまで行政が持っていた物差しでは測りきれない部分をどう補うかという大きな課題があります。その課題を解決するには、社会の変化に敏感で、地域を知り尽くしている住民の皆さんとの協働が最適であると考えています。

近年は様々な分野で住民生活と密接に関わっている NPO 等の活動によって、行政だけが住民のための政策を実行し、住民のニーズや情報が市役所だけに集中するということがなくなりました。多様な住民ニーズを探り、細やかな公共サービスを提供するために、地域の共同経営者として新しい公共の在り方を模索し、より良いまちづくりのための活動をしていただけることを期待しています。

2) NPOやボランティア団体への活動支援施策について(300字以内)

NPO等の団体が高山市にて、様々な公益的な活動に取り組んでいます。「市民活動事業補助金」や「市民活動団体設立補助金」など、地域づくりに取り組む団体への助成事業も行われています。今後もNPO等の活動をより推進していくために、補助等資金的な支援も含めて活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの支援施策等がありましたら、具体的にお答えください。

☒ はい

・

☐ いいえ

・

☐ その他

質問の「補助金」の他、地域課題の解決に向けた市民活動を支援する「地域課題解決型プラン」への補助、若者がやりがいと生きがいをもって主体的に活動を始める第1歩を支援する「若者活動支援補助金」を設けています。また、地域の課題や社会貢献に取り組む財団の運営・活動支援のための市職員派遣・資金援助、子どもの多様な居場所づくりの NPO 等に大胆に事業委託をすることできめ細やかな事業展開・運営支援を行っています。これらの支援や活動委託は、今後、分野や活動の範囲を拡大します。日本一広い市域を持つ高山市では地域に合った実に様々な活動が行われています。地域の維持や振興に繋がる活動は積極的に支援する方針は堅持します。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「高山市第九次総合計画 第5章 着実な計画の推進 (1) 市民協働・情報発信・多様性」では、「市民協働による多様な課題の解決」について書かれています。今後も、NPO等との協働関係を築き、協働関係を発展させていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

☐ はい

・

☐ いいえ

・

☐ その他

NPO 等との協働関係は、どちらかという行政がその活動を支援するといった構図になっていました。そうした側面は残しつつ、今後は「今、この瞬間を共に創り、地域を未来につなげていくパートナー」として、行政という物差しでは測りきれない細やかな施策を、大胆に NPO 等に委ねて展開することが、現実的、効果的かつ効率的であると考えています。両者が同じ方向を向き、対等なパートナーとして、ともに施策を展開する。小さくても成功モデルを積み上げて、持続可能な地域づくりにつなげるという新しい公共を創り上げます。それが暮らしたい、働きたい、学びたいまちづくりの扉を開ける一つの重要な鍵になると考えています。

ご協力ありがとうございました。